



生産環境工学通信 No.03-1

Eco-Technology

編修 東京農業大学
地域環境科学部生産環境工学科
東京都世田谷区桜丘 1-1-1
TEL 03-5477-2331
FAX 03-5477-2620

ロボットで農業をする！

キーワード：ロボット農業、自然エネルギー、食料生産システム

今、日本の農業は、農業に従事する人達の高齢化、食の安全性をどのように確保するか、省エネルギーを如何に達成するかなど様々な問題を抱えています。ひとつの解決策が太陽光を利用したロボットで農業をすることだと考えています。このようなロボットに必要な機能は、出来るだけ小さなエネルギーで栽培が可能なシステムを確立することと、出来るだけ軽量のロボットを作ることです。ロボット農業リサーチセンターは、そのために設立された研究施設です。



ロボット農業リサーチセンター



ソーラー農業ロボットの開発



作物個体ハンドリングロボット

ロボット農業では、一つ一つの作物の違いを記憶しておいて、それぞれの個性に合わせた栽培が可能になります。このことにより、作物がどのようにして栽培され、消費者に届けられるかが明らかになります。また、電力を出来る限り使用しないで、自然エネルギーのみで環境を制御したエコテックグリーンハウス内や、温室内で一つ一つの作物を管理しながら栽培を行います。



エコテックグリーン
ハウス内での
イチゴ栽培



研究代表 玉木教授



地域環境科学部生産環境工学科
生産機械・エネルギー分野

農業ロボット工学研究室

玉木浩二教授 (tamaki@nodai.ac.jp)

吉村正敬教授 田島 淳講師

樹野淳也助手